

教科名	国語
科目名	国語B
グレード	
単位時間	週2時間
対象学年	中学1年

科目の概要と目標	我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることを目標とし、主に小説や古典文学を中心的な教材とする。《知識及び技能》我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。《思考力、判断力、表現力等》筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにできるようにする。《学びに向かう力、人間性等》言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
使用教科書	東京書籍「新しい国語1」
使用副教材	第一学習社「新版 意味から学ぶ常用漢字」
評価の方法	①定期考査（年4回） ②課題、ワークブック、ノート等の提出 ③発表などのパフォーマンス ④主体的に取り組む態度 評価は、「5・4・3・2・1」の段階別評価と観点別評価を行う。 観点別評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3点をみるもので、それぞれ「知識・技能」が身についているか、適切な「思考・判断・表現」ができているか、「主体的に学習に取り組む態度」があるか、を評価する。
学習の方法	【予習】①次回の授業で学習する文章を読んでおく。②意味がわからない語句について確認しておく。③文章の主題は何か考えておく。 【授業の時間】①文章の組み立てや主題を理解する。②文章中の特に注目すべき部分について、自ら考えるとともに、発表学習や小論文などの課題を通じて他者の意見も取り入れ、より深い読解を目指す。 【授業以外の時間】①普段から、様々な種類の文章を読むよう心がける。②普段から、「他者にわかりやすく的確に伝えること」を意識して、会話をしたり文章を書いたりするようにする。
生徒への一言	社会で生きていくためには、「他者の意見をしっかりと聞くこと」「自分の考えをしっかりと伝えること」「文章を正確に読み取ること」「文章をわかりやすく書くこと」といった力が必要です。国語の授業は、このような「社会で生きていくための力を養う時間」であると考えて、積極的に取り組んでください。

月	授 業 予 定
4月	詩「風の五線譜」「詩の心」, 「小さな発見を詩にしよう」
5月	小説「飛べ かもめ」, 文法の窓（言葉の単位）
	5月下旬 前期中間考査
6月	小説「さんちき」, 文法の窓（品詞）
7月	小説「そこに僕はいた」
8・9月	詩「月夜の浜辺」（中原中也）, 小説「トロッコ」
	9月下旬 前期期末考査
10月	古典「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」
11月	
	11月下旬 後期中間考査
12月	百人一首, 「漢字道場」, 「日本語探検」
1月	小説「少年の日の思い出」

2月	
	2月下旬 後期期末考査
3月	詩「私の中にも」